

2022年12月28日

関係者各位

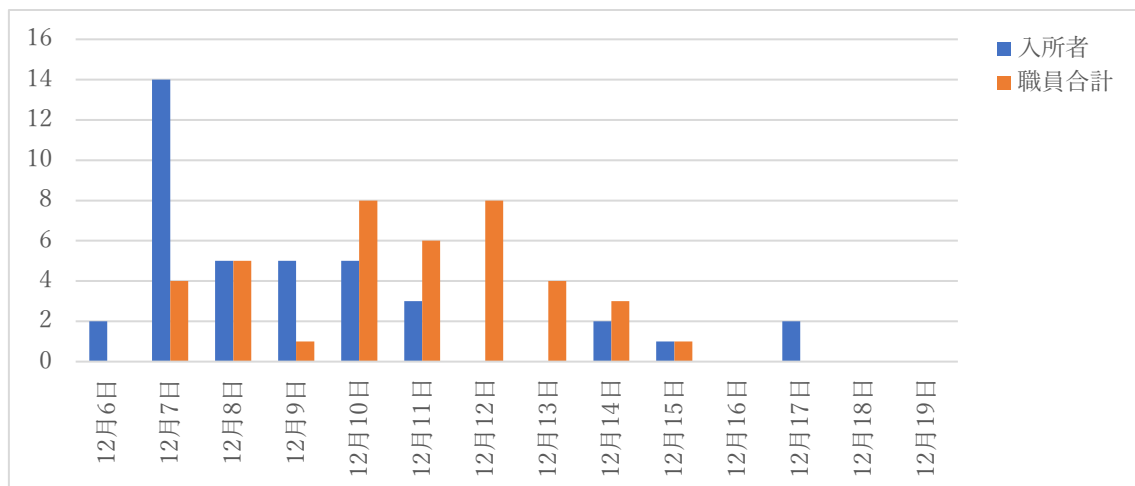
神戸医療福祉センターにこここハウス
院長 河崎 洋子

新型コロナウイルス感染症発生経過報告

平素より当センターの運営にご理解、ご協力賜りありがとうございます。

この度は、当センターの病棟で新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、ご利用者様及びご家族に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回のクラスターの経過は、12月6日にBフロア入所利用者様2名の陽性が判明し、最終的に入所利用者様39名と職員40名が新型コロナウイルス陽性となりました。入所利用者様と職員の発症日の経過は下記の通りです。



2つの病棟にクラスターが波及すると職員不足が長期化して施設全体の運営が破綻するため、1つの病棟にクラスターを抑え込むことを最優先目標として取り組み、在宅支援事業を休止して、全職員の応援体制で臨みました。結果的には、Aフロアへの感染拡大は阻止できましたが、Bフロア利用者様43名中39名が発症して、11名の利用者様は一時的に点滴などの加療を行い、2名の利用者様が転院加療となりました。最終の職員発症は12月15日、利用者発症は17日で、罹患した利用者様、職員は治癒もしくは回復傾向となり、12月28日に利用者様の最終発症確認から標準的な療養期間を経過したため、「終息」といたしました。

在宅支援サービスは12月23日より一部再開していますが、2023年1月4日より全面的に通常のサービス提供体制に戻す予定です。

全国的な感染拡大が続いていますので、今後も引き続き感染予防策に十分配慮して参りますので、ご理解ご協力よろしくお願ひ申し上げます。